

# 彦根城をより深く知るために学芸員に聞いてみた



「江戸時代の政治の仕組み」って一体どういうもの？

戦国時代との対比から江戸時代の特色をお伝えします。

## 戦国時代

一つの地域に大名以外にも権力者がたくさんいました（大名の重臣、地主、お寺などなど…）。そのそれぞれが城や館をもっており、**争いが日常的に発生していて不安定**でした。また、その地域に暮らす住民らも事件が発生したときに、頼る相手がはっきりしていなかったのです。

## 江戸時代

将軍が大名にお城を預け、そこに住ませました。大名の重臣たちには自分のお城を持たせず、大名のお城に集めて暮らさせました。**その地域の権力が1か所に集まることで、争いごとがなくなり、平和・安定となりました。**

大名や重臣が集まって生活しているため、常に価値観や政治方針を共有することで、反乱がない（できない）仕組みになっており、平和が保たれていました。このように、大名と重臣が共に暮らし、共に政治を行う江戸時代特有の仕組みを**「大名統治システム」**と呼びます。



これが、重臣屋敷が中堀の内側にあったり、玄宮園で一緒に武術や文化的な価値観が共有された背景なんですね。では、どうしてこの範囲が世界遺産登録の対象なんですか？



江戸時代に大名と重臣たちが集まって暮らし、合議政治が行われた範囲を世界遺産の候補地として考えています。この範囲は、国の特別史跡として保護されており、そのまわりも彦根らしい景観や彦根城の眺望が守られていて、その保存状態をイコモスからも評価されました。

## 彦根城のアピールポイント

既に世界遺産に登録されている姫路城は、建物そのものの価値・素晴らしさについて評価されています。姫路城に限らず多くの城は、周辺の都市開発などが進み、遺構が残されていませんが、彦根城は、行政だけでなく地域コミュニティにも遺産を大事にする意識が強く、**「大名統治システム」**を説明できるほど当時のままの姿で遺産が残っている、というところがアピールポイントなのです。

# 「みんなの力で」彦根城を世界遺産に

彦根を笑顔でいっぱい、彦根城に誇りをもって

市内に事業拠点がある、株式会社平和堂、キリンビール株式会社（滋賀工場）、株式会社ブリヂストン（彦根工場）の3社から成る**「HKB」**は、「彦根発！笑顔いっぱいプロジェクト」として活力ある街づくり、地域活性化を応援する取組を行っています。11月3日に、3社から総勢80人の皆さんが彦根城周辺の一斉清掃活動が行われました。



キリンビール滋賀工場 総務広報担当 部長 飯塚 浩一郎 さん

「HKBは＜持続可能＞をテーマに地域貢献活動を開始し、今年で10周年になります。今回は彦根城の世界遺産登録に向けて、少しでも力になればという思いから、城周辺の清掃を行いました。世界遺産登録への機運醸成につながると嬉しいです。」と話したのは、今回のプロジェクトを企画されたキリンビール滋賀工場の飯塚さんです。地域の住民にとっては身近であり、あるのが当たり前とも言える彦根城の素晴らしさを改めて知ってもらい、**誇りに感じてもらえるような活動を意識**されています。「例えば、世界遺産登録に向けて、オーバーツーリズムを懸念されていると聞きます。彦根城を見てからキリンビール滋賀工場で見学をする流れを作れば、広域観光という点でも力になれると思います。」

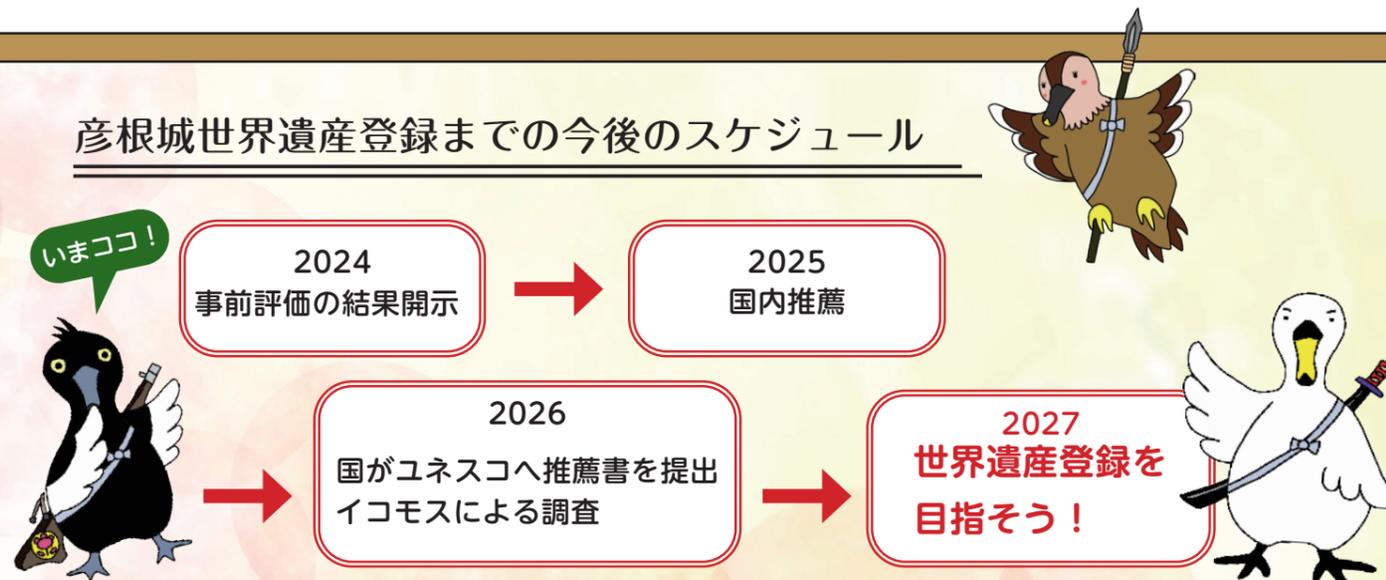


▲11月3日に行われた彦根城周辺の「一斉清掃活動」の様子

## 地域コミュニティの参画

地域の盛り上がり彦根城の世界遺産登録には欠かせません。今回の事前評価においては、これまで、地元住民や団体、企業が彦根城の世界遺産登録の実現に向けてさまざまな活動を行ってこられたことについて、評価を受けました。

## 彦根城世界遺産登録までの今後のスケジュール



2027年の世界遺産登録を目指してみんなで盛り上げていきましょう！